

資料

(調查票)

地域の福祉活動に関する市民意識調査

令和4年9月 札幌市

日ごろから、札幌市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、札幌市では、市民の皆さん、事業者（会社など）の方々、行政が一体となり“安心して暮らせるぬくもりのある地域福祉社会”を実現することを目的として、令和6年に新しい「札幌市地域福祉社会計画」を策定いたします。

この調査は、市民の皆さまの地域福祉に関するご意見を把握することを目的として行い、回答結果は計画策定の基礎資料として活用させていただきます。お忙しいところ、お手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

○今回お送りしたもの

「地域の福祉活動に関する市民意識調査」調査票、返信用封筒

○対象者の選び方

市民の皆さまの中から3,000人を、くじ引きのような方法（無作為抽出）で選んでいます。回答を強制するものではありませんので、答えられる範囲で調査にご協力ください。

○その他

プライバシーの保護には十分配慮します。この調査は皆さまから無記名でご回答いただきます。回答結果は全て統計的に処理しますので、個人のお名前が公表されることはありません。

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答はご本人（封筒のあて名の方）が記入してください。
- 各設問の選択肢で、あてはまる番号に○をつけてください。なお、「その他」の選択肢に○を付けた場合には、その内容をできるだけ具体的に（ ）内に記入してください。
- 回答によって、答えなくても良い質問があります。質問中の指示に従ってお進みください。
- 使用いただく筆記用具はどのようなものでも構いません。
- 記入が済みましたら、お手数ですが調査票を同封の返信用封筒に入れて、令和4年10月16日（日）までに切手を貼らずに郵便ポストへご投函ください。なお、調査表及び返信用封筒に名前や住所を記入していただく必要はありません。

【本調査に関するお問い合わせ先】

札幌市保健福祉局総務部総務課

担当：萩原・横山 電話：211-2932

I あなた自身のことについて

問1 性別について、あてはまるものに○をつけてください。

1 男性

2 女性

3 その他

問2 現在の年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 16～19歳

2 20～29歳

3 30～39歳

4 40～49歳

5 50～59歳

6 60～64歳

7 65～74歳

8 75歳以上

問3 稼働の状況（パート・アルバイトを含む）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 週5日以上

2 週3～4日

3 週2日以下

4 不定期

5 非稼働

問4 家族の形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 一人暮らし

2 夫婦だけの二人世帯

3 二世代世帯（親と子）

4 三世代世帯（親・子・孫）

5 その他（

）

問5 現在のところにお住まいの年数について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 1年未満

2 1年以上5年未満

3 5年以上10年未満

4 10年以上20年未満

5 20年以上

問6 お住まいの住宅について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 自分又は家族の持ち家（一軒家）

2 自分又は家族の持ち家（マンションなどの集合住宅）

3 借家（一軒家）

4 借家（公営住宅やアパート・マンションなどの集合住宅）

5 その他（

）

問7 あなたは、次の通信・連絡手段を普段活用していますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 Eメール
- 2 LINE
- 3 WEB会議サービス (Zoom、Teams 等)
- 4 SNS (Twitter、Facebook 等)
- 5 活用しているものはない
- 6 その他 ()

II 地域活動について

地域活動とは、町内会など様々な団体が行っている福祉や環境美化、防犯・防災などの地域を住み良いものにするための活動のことです。

問8 あなたは、地域活動に参加したことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある ⇒ **問9**へ
- 2 ない ⇒ 6ページ **問17**へ

<問8で「1 ある」に○をつけた方にお聞きします>

問9 あなたは、お住まいの地域で、次のような団体の地域活動に参加したことがありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 町内会 (連合町内会を含む)
- 2 子ども会
- 3 P T A
- 4 ボランティア団体
- 5 福祉のまち推進センター
- 6 民生委員児童委員協議会
- 7 老人クラブ
- 8 商店街振興組合
- 9 N P O法人
- 10 サークル等のグループ
- 11 その他 ()

問10 あなたは、上記団体が行う次の活動のうち、どのような活動に参加したことありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 高齢者・障がい者の見守りや手助けなどの福祉活動
- 2 子育て、子どもの健全育成に関する活動
- 3 教育、文化、スポーツの振興に関する活動
- 4 地域清掃や自然保護などの環境に関する活動
- 5 交通安全、防犯・防災などの地域の安全に関する活動
- 6 その他 ()

問 11 あなたは、どのくらいの頻度で地域活動に参加していますか（いましたか）。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1 毎日 | 2 週に数回程度 | 3 週に 1 回 |
| 4 月に数回程度 | 5 月に 1 回 | 6 年に数回程度 |
| 7 年に 1 回 | 8 その他 () | |

問 12 あなたが地域活動に参加することになったきっかけは何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 新聞 | 2 テレビ・ラジオ |
| 3 地域情報誌・フリーペーパー | 4 広報さっぽろ |
| 5 市のパンフレット | 6 公共施設等の掲示板 |
| 7 回覧板 | 8 地域活動団体のパンフレット・情報誌 |
| 9 家族や知人・友人 | 10 インターネット |
| 11 SNS | 12 その他 () |

問 13 あなたは現在、地域活動に参加していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 参加している |
| 2 参加しているがコロナのため活動自体が休止している |
| 3 参加していない |

問 14 あなたは、地域活動を今後も継続したい（現在参加していない場合は再度参加したい）と思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 継続（再度参加）したい ⇒ 次ページ 問 15 へ |
| 2 継続（再度参加）したくない ⇒ 次ページ 問 16 へ |

<問14で「1 繼続（再度参加）したい」と答えた方にお聞きします>

問15 あなたが、「継続（再度参加）したい」と答えた理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 社会や人のためになる活動だと感じるから
- 2 身近な地域をより住みやすいものにしたいから
- 3 自分の経験や知識を生かしたいから
- 4 地域の人と交流を深めたいから
- 5 余暇を有効活用したいから
- 6 知人・友人・家族も活動を継続しているから
- 7 コロナウィルス感染拡大が落ち着いてきたから
- 8 その他 ()

⇒6ページ問19へ

<問14で「2 繼続（再度参加）したくない」と答えた方にお聞きします>

問16 活動を継続（再度参加）したくない理由はどのようなことですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 時間のゆとりがなくなったため
- 2 自分の体調が悪くなったため
- 3 金銭的な負担が大きいため
- 4 活動自体の負担が大きいため
- 5 活動のとりまとめ役がいないため
- 6 活動の場が少なくなったため
- 7 家族が病気になったため
- 8 家族の理解がないため
- 9 参加していた団体が解散したため
- 10 参加していた団体の運営に問題があるため
- 11 コロナウィルス感染が怖いため
- 12 その他 ()

⇒6ページ問19へ

<問8で「2 ない」と答えた方にお聞きします>

問17 現在、あなたが地域活動に参加していない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 どんな活動が行われているか情報がないため
- 2 自分に合った活動が見つからないため
- 3 時間のゆとりがないため
- 4 経済的な余裕がないため
- 5 健康や体力に不安があるため
- 6 一人では参加しにくいため
- 7 人と接することが苦手であるため
- 8 家族や職場の理解が得られないため
- 9 コロナウィルス感染が怖いため
- 10 地域の人と関わりたくないため
- 11 地域活動に関心がないため
- 12 その他 ()

問18 あなたが地域活動やボランティアに参加するとして、どの程度の参加が可能ですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1 毎日 | 2 週に数回程度 | 3 週に1回 |
| 4 月に数回程度 | 5 月に1回 | 6 年に数回程度 |
| 7 年に1回 | 8 できない | |
| 9 その他 () | | |

Ⅲ ご近所との付き合いについて

問19 あなたはご近所とどのような付き合いがありますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 あいさつをする程度の付き合い
- 2 立ち話をする程度の付き合い
- 3 お互いの家を行き来する程度の付き合い
- 4 困った時に相談したり助け合える程度の付き合い
- 5 近所との付き合いはない
- 6 その他 ()

問 20 あなたは、日ごろの生活での困りごとを誰（どこ）に相談していますか、又は、誰（どこ）に相談することができますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人 |
| 3 学校や職場の先生・知人 | 4 近所の人 |
| 5 町内会関係者 | 6 民生委員・児童委員 |
| 7 福祉のまち推進センター | 8 民間事業者 |
| 9 ボランティア・NPO法人などの民間団体 | 10 社会福祉協議会 |
| 11 役所などの公的相談窓口 | 12 相談できる相手はない |
| 13 自分の困りごとを他人に相談しない | 14 その他（ ） |

問 21 コロナ禍でご近所との付き合いに変化はありましたか。

- | |
|----------------------|
| 1 近所付き合いは減った（希薄になった） |
| 2 近所付き合いは増えた（濃密になった） |
| 3 変わらない |

IV 住民による支え合い活動について

以下の設問にある「日常生活に手助けが必要な方」とは、高齢者、障がいのある方、子育て中の親子などの中で、日常生活に困りごとを抱えているなど、相談相手や手助けが必要と思われる方のことです。（家族は含みません）

問 22 あなたのご近所で、日常生活に手助けが必要な方はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 いる ⇒ 問 23 へ |
| 2 いない ⇒次ページ 問 24 へ |
| 3 わからない ⇒次ページ 問 24 へ |

<問 22 で「いる」と答えた方にお聞きします>

問 23 日常生活に手助けが必要な方を知ったのはどのような場面ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|----------|--------------------------|
| 1 地域活動 | 2 知人・友人・近所の人からの情報 |
| 3 仕事 | 4 知人・友人が日常生活に手助けを必要としていた |
| 5 その他（ ） | |

問 24 あなたのご近所で日常生活に手助けが必要な方がいる場合、あなたはどのようなことができますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。 1～11の項目以外に、手助けできることがある場合には、「12 その他」の（ ）内に具体的に記入してください。

- 1 安否確認の声掛け
- 2 ちょっとした家事（電球の交換など）
- 3 ごみ出し
- 4 家の中の掃除や洗濯
- 5 食事づくり
- 6 玄関前の除雪
- 7 買い物や通院時の外出の支援
- 8 短時間の子どもの預かり
- 9 子育ての相談
- 10 話し相手
- 11 できることはない
- 12 その他（ ）

問 25 あなたは、日常生活の中で近所の人に手助けしてほしいことはありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。 1～11の項目以外に、手助けしてほしいことがある場合には、「12 その他」の（ ）内に具体的に記入してください。

- 1 安否確認の声掛け
- 2 ちょっとした家事（電球の交換など）
- 3 ごみ出し
- 4 家の中の掃除や洗濯
- 5 食事づくり
- 6 玄関前の除雪
- 7 買い物や通院時の外出の支援
- 8 短時間の子どもの預かり
- 9 子育ての相談
- 10 話し相手
- 11 してほしいことはない
- 12 その他（ ）

問 26 ご近所同士がお互いに力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで、さまたげとなることは何だと思いますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 近所付き合いが減っていること
- 2 近所でどのような活動が行われているか、情報提供がないこと
- 3 他人に干渉する（される）ことを苦手に感じる人が多いこと
- 4 個人情報の取扱いに不安があること
- 5 若い人が活動に参加しにくい（しない）こと
- 6 近所同士の助け合いや支え合いに関心のない人が多いこと
- 7 地域での交流の機会（場所）が少ないとこと
- 8 新型コロナウィルス感染症の感染拡大予防への意識
- 9 特にない
- 10 わからない
- 11 その他（ ）

V 札幌市の地域福祉施策について

市内で概ね連合町内会ごと（89か所）に組織されている「福祉のまち推進センター（福まち）」では、地域で援助を必要とする人に対して、日々の安否確認や日常生活上の手助け、話し相手など、地域の実状に応じて福祉活動を行っています。

問 27 あなたは、福祉のまち推進センター（通称：福まち）を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 知っている ⇒次ページ問28へ
- 2 知らない ⇒次ページ問30へ

<問27で「1 知っている」と答えた方にお聞きします>

問28 あなたは、福祉のまち推進センターを何で知りましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 新聞 | 2 テレビ・ラジオ |
| 3 地域情報誌・フリーペーパー | 4 広報さっぽろ |
| 5 市のパンフレット | 6 公共施設等の掲示板 |
| 7 回覧板 | 8 地域活動団体のパンフレット・情報誌 |
| 9 家族 | 10 知人・友人 |
| 11 民生委員・児童委員 | 12 福祉のまち推進センターの活動者 |
| 13 インターネット | 14 SNS |
| 15 その他 () | |

問29 あなたは、福祉のまち推進センターの活動に参加したり、手助けを受けたことはありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1 活動に参加している（していた） |
| 2 手助けを受けている（受けていた） |
| 3 参加したことない、手助けを受けたことない |

<皆さんにお聞きします>

問30 あなたは、今後（現在参加している方は引き続き）、福祉のまち推進センターが行っている活動に参加したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 ぜひとも参加したい |
| 2 きっかけがあれば参加したい |
| 3 参加したいが、時間的・体力的な都合により参加することは難しい |
| 4 参加したくない |
| 5 わからない |
| 6 その他 () |

問31 あなたは、今後（現在支援を受けている方は引き続き）、福祉のまち推進センターによる手助けを受けたいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ゼひとも手助けを受けたい
- 2 きっかけがあれば、手助けを受けたい
- 3 手助けは受けたくない
- 4 日常生活に問題がないので手助けの必要性を感じていない
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問32 福祉のまち推進センターなどが行う活動に、より多くの方に参加していただくためには、どのような取組みを充実すべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 情報提供を積極的に行い、活動を広く知ってもらうこと
- 2 市から特定の仕事をまかせるなど、活動者の役割をわかりやすくすること
- 3 費用の助成を充実するなど金銭面の不安を解消すること
- 4 地域住民が気軽に集まり活動ができる場所を作り出すこと
- 5 活動への参加を希望する方に研修の機会を設けること
- 6 わからない
- 7 その他（ ）

問33 地域における手助けや支え合いは、誰が（どこが）中心となって行うべきだと思いますか。特に行うべきと考えるもの3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人 |
| 3 学校や職場の先生・知人 | 4 近所の人 |
| 5 町内会関係者 | 6 民生委員・児童委員 |
| 7 福祉のまち推進センター | 8 民間事業者 |
| 9 ボランティア・NPO法人などの民間団体 | 10 社会福祉協議会 |
| 11 役所などの行政機関 | |
| 12 その他（ ） | |

問34 あなたの住む地域において日常生活に手助けを必要とする方を発見し、その方が抱える問題を解決するためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 地域住民が気軽に集まることができる場所を作り出すこと
- 2 活動のリーダーやまとめ役を養成すること
- 3 活動に参加してもらえるように呼びかけや研修を行うこと
- 4 活動をしている団体への費用の助成を充実させること
- 5 地域の住民だけでなく事業者等にも地域活動に協力してもらうこと
- 6 活動についての情報提供など広報活動を充実すること
- 7 難しい問題の解決に取組むような専門職員を区役所等に配置すること
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問35 地域活動と住民の支え合いについて、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

回答が終わりましたら、10月16日（日）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストへ投函願います。